

合 意 事 項

平成 16 年 4 月 12 日

大 阪 府
大 阪 市
社 団 法 人 関 西 経 済 連 合 会
大 阪 商 工 会 議 所

大阪府、大阪市、関西経済連合会、および大阪商工会議所の四者は、平成 16 年 4 月 12 日、懇談会を開催し、別紙の事項について意見の一致をみ、今後、四者協力してこれらに取り組むこととした。

また、今後、大阪の再生・発展をめざして、まちづくりをはじめとする重要課題について、四者がより一層協力して取り組むことを確認した。

関西国際空港 2 期事業の推進について

別紙の通り、関西国際空港 2 期事業の 2 0 0 7 年供用開始に向け、より一層四者が協力して取り組むことについての決議をとりまとめ、関係先に要望することに合意した。

関西国際空港2期事業の推進に関する決議

大阪府知事 太田 房 江
大阪市長 關 淳 一
(社)関西経済連合会会長 秋 山 喜 久
大阪商工会議所会頭 野 村 明 雄

グローバルな産業ネットワークや観光交流がますます拡大する中で、世界に直結する国際拠点空港は、国の将来を左右する基幹的インフラとして極めて重要なものとなっている。

このような中で、関西国際空港は、国際線と国内線が相互に乗り入れる利便性を活かし、わが国唯一の本格的な24時間運用可能な国際拠点空港として、日本の国際航空旅客の4分の1、国際貨物の約3割の利用を支えており、わが国の航空ネットワークの拠点として、欠くべからざる役割を果たしている。

こうしたことから、関西国際空港の整備にあたっては、将来見込まれる航空需要に適切に対応し、国際拠点空港にふさわしい機能と役割が担えるよう、総合的な観点から進められるべきであり、2007年供用開始に向けて2期事業を計画どおり着実に推進することは、国家としての競争力を高めていく上でも必要なことである。

地元関西としても、関西国際空港の活性化と発展を関西全体の最優先課題としてとらえ、4者が中心となって、経済交流や観光プロモーションと連携したエアポートプロモーション活動、ビジネス出張や観光旅行などで関西国際空港発着便をより一層利用するキャンペーン活動、大規模集客イベント開催など開港10周年記念事業に対する積極的な支援に全力をもって取り組む決意である。

また併せて、下記の点を4者の総意として国に対して強く要望する。

記

1. 平成17年度予算概算要求においては、2期事業の2007年供用開始に必要な事業費を確保されたい。
2. 国際線と連動した国内線ネットワークの充実を図り、関西国際空港における乗継利便性が高められるよう、適切に対処されたい。

以 上

花と緑・光と水のまちづくりへの取り組みについて

世界に誇れる都市・大阪の再生のためには、関西国際空港の整備推進とともに多くの人々が大阪を訪れたいくなるような魅力あるまちづくりを進めることが重要である。

このため、「花と緑・光と水懇話会」の提言に基づき、大阪が持つ貴重な資源である「水の都」の魅力を最大限に活かした、花と緑・光と水のまちづくりに積極的に取り組んでいく。